

**協同組合の特性を活かした
地域・社会への貢献**

● JA総合事業を通じた
地域インフラ機能の発揮

JAグループは、金融・共済、営農・経済、医療・福祉などJA総合事業の展開により、生活インフラ機能を発揮し、組合員はもとより地域住民の暮らしを支えています。

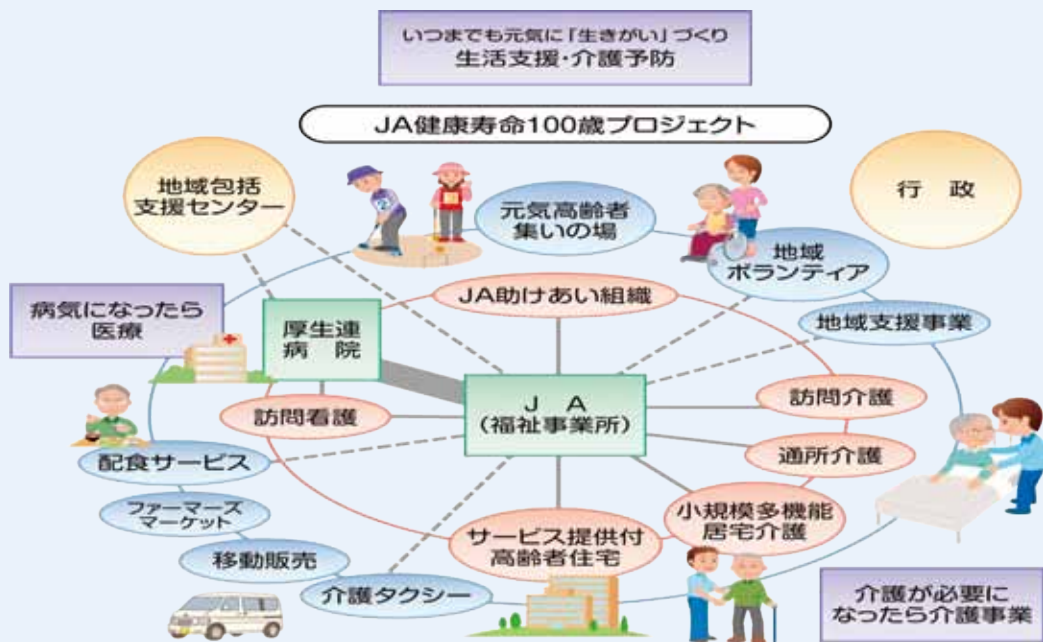
このため、とりわけ農村地帯において、地方公共団体や他の協同組合、地域の関連企業と連携しながら、今後も、地域に根ざした「協同組合組織」として、総合事業の特性を活かした事業展開を通じて地域インフラ機能の発揮に継続的に取り組んでまいります。

● JAの多様な活動を通じた
地域コミュニティの創造

JA食農教育や文化活動などJAくらしの活動を体系的に実施することで、組合員・地域住民同士が接点を持つきっかけを作り、地域コミュニティの創造に取り組めます。

また、JA健康寿命100歳プロジェクトや認知症サポーター養成活動などを通じて、安心して暮らせる地域社会づくりを支えます。

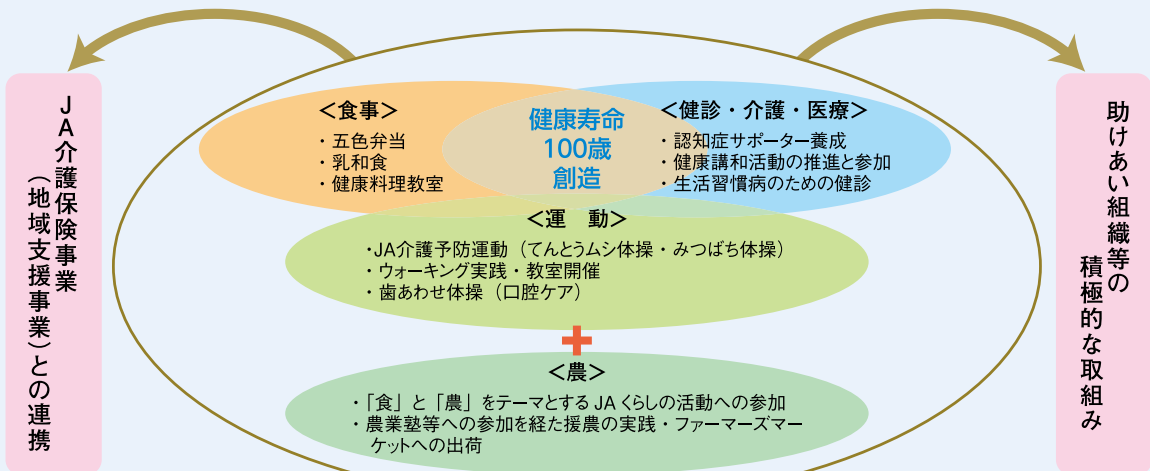
JA版地域包括ケアシステムの実践イメージ



JA健康寿命100歳プロジェクト
健康寿命を100歳まで継続するための体力づくり、健康づくり、いきがいづくり

高齢者が「生きがい」を感じられる様々な取組みを展開・参加促進

支えられる高齢者から「食」と「農」を支える新たな担い手としての活躍が期待



「食事」「運動」「健診・介護・医療」の三つの柱を基本に、高齢者になっても「健康寿命の創造」を目的とした様々な取組みを展開
 <取組例> ●配食●ミニデイサービス●健康体操教室●認知症予防教室●安否確認(見守り)●交通安全教室●子育て支援活動●介護事業ボランティア